区分・種別	重要文化財(建造物)		
名　　称	ながはまおおはし 長浜大橋　１基　　附　旧開閉用電動機械装置一式		
所　在　地	大洲市長浜町沖浦、長浜		
所　有　者	愛媛県、大洲市	管 理　団 体	
指定年月日	平成26年12月10日		
解　　説	愛媛県西部の肱川の河口部に架かる河川交通に配慮した道路可動橋である。愛媛県を事業主体として、増田淳(ますだじゅん)事務所の設計により、昭和10年に竣工した。長さ232.3mの鋼橋(こうきょう)で、中央右岸寄りの可動部と左右の五連の鋼製(こうせい)ポニーワーレントラス桁からなる。可動部は、桁が片側に90度回転する形式である。 現存最古の道路可動橋で、かつ建設当初から開閉機能を保持し続けている。米国で習得した設計技術を駆使して可動橋を数多く手掛けた増田淳が設計し、先端的な工法を用いて架設された大規模な単様式跳開橋(たんようしきちょうかいきょう)であり、橋梁技術史上、価値が高い。		